

Densho Bato

# でんしょ鳩



公益社団法人  
北九州市障害福祉ボランティア協会  
〒804-0067  
北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた6階  
北九州市立東部障害者福祉会館内  
TEL 093-882-6770 FAX 882-6771  
E-mail:XLZ02133@nifty.ne.jp  
URL:http://www.ksvk.jp/  
◇郵便局振替口座/福岡 01740-4-8846  
◇福岡銀行 戸畑支店 普通口座/2130527  
公益社団法人北九州市障害福祉ボランティア協会

◇平成28年度 みんなの研修会を終えて 2~3P

事務局長 竹田 英樹

◆ホテルのバリアフリー情報をホームページで紹介します! 4P

◇やってみよう!外出支援ボランティア 4P

◆ボランティア物語 88 5P  
『普通じゃない』宮崎 浩 **好評連載中!!**

◇北九州市福祉のまちづくりネットワーク 5P

リレーレポート③

バリアフリー現地点検で感じたこと

北九州市建設局道路部道路計画課 若菜 邦彦

◆MYフレンド 6P

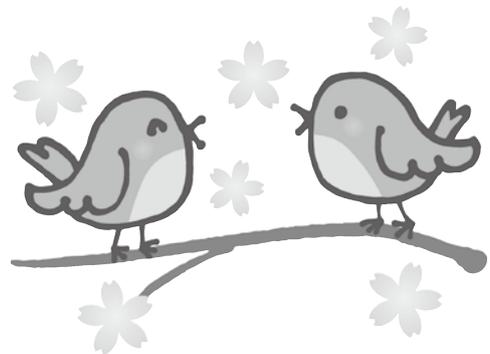
東部障害者福祉会館職員 櫻木 奈緒子

◇あったらイイね!こんなトコ 7P

さんぞくや ひびきの店

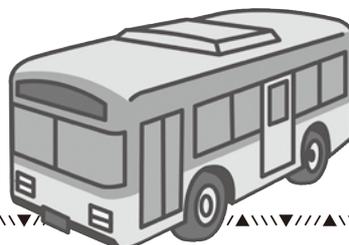
◆定期総会のお知らせ 7P

◇協会カレンダー 8P



## 座標軸

昨年4月、障害者差別解消法が施行となりました。未だに「合理的配慮」の言葉が理解し辛く感じられます。「配慮」されるようになって、場面によっては、「遠慮」されている方も多いように思えます。



先日、深夜の高速バス個室プレミアムシート誕生を知りました。個室はプライバシーに配慮され安心と快適さが約束されます。しかし、車いすでは、乗車できないと知り、諦める人も出てくるでしょう。障害のある人々にも遠慮なく一人旅が出来るように「合理的配慮」がされる日が来ることを願います。

(K・O)

# 平成28年度 みんなの研修会を終えて

事務局長 竹田 英樹

平成29年2月4日(土)

に役員、常任委員、会員、職員、合わせて18名でボランティア協会の平成29年度の取り組みについて話し合う研修会を開催しました。

今回は、岡田理事長のあいさつの後、難しい話し合いの前に、アイスブレイク1部「共通点を探そう」を2人1組でしました。お互いの新しい共通点の発見や面白い共通点などもあり、場が次第になごみました。

アイスブレイク2部では、ロボットの「ロビちゃん」が進行役となり、グループ対抗でロビちゃんにまつわるクイズの答えを考えました。クイズで成績の良かったグループには最後に理事長から賞品が授与されました。

## 「28年度の取り組み」

楽しいアイスブレイクが終わり、29年度の取り組みについて話し合いを始める前に、28年度取り組みだ事業「街に出て行こうプロジェクト」について、実行委員長

の榎さんから報告がありました。昨年の「みんなの研修会」で提案された「障害福祉に関わるボランティアを増やすために、多くの人が集まる場所に出向いていく啓発活動」の取り組みについて話し合いをした中で福岡県西方沖地震から11年目で防災について考える機会があり、このプロジェクトの企画に防災という視点を取り入れようということになりました。

多くの人が集まる場所へ出向いて行く取り組みとし

ては、3回実施しました。夏の暑いお祭り会場や、商店街のイベント会場・障害者週間の街頭キャンペーンにJR駅周辺会場などで開催しました。



視覚障害者の介助体験、福祉マーククイズ、防災に関連したクイズや非常食試食コーナーなどを行いました。非常食試食コーナー

ではカレーの非常食が子どもにとっては辛いことなどがわかりました。

報告の後、みんなで非常食の試食をし、缶詰めのパンが意外とおいしいと大好評でした。

## 「思い込み・偏見」

### ・無理解

休憩後、第3部では事務局の船寄と鳥居が進行役となり、グループで障害者に対する「思い込み・偏見・無理解」について話し合い、ポストイットに書き出してもらいました。グループのメンバー構成により出てくる意見はさまざまでした。

### Aグループでは

◆「視覚障害があるから映画を見たって意味がないでしょ」と言われた。

◆目が見えないので、会話の中で出てくるものが分からないことがある。

### Bグループでは

◆ガイドボランティアをしていて、動物園で盲導犬

の入場を断られたことがある。

◆車いす使用者の障害の状態を知らないのに、移乗ができないことを「頑張り足りない」という人がいた。

◆視覚障害者はパソコンや携帯を使えないと思われる。

◆障害当事者でもリーダーになる能力があるのに、そう思われていない。

### Cグループでは

◆公共交通機関で席を譲られても立ったり座ったりがづらい人もいる。

◆公共の点字ブロックの敷設に当事者の意見が反映されていない。

◆オストメイト対応の多目的トイレが少ないし、知られていない。

◆障害があっても戸畑の提灯山笠に参加したい。

◆各グループの意見を発表してもらい「思い込み・偏見



無理解」を無くしていくた  
めには、どうすればいいか話  
し合いました。

◆ 研修会の中で出た意見は、

◆ 市民センターで地域の人  
に向けて障害者差別解  
消法を分かりやすく伝  
える寸劇やHUG(避難  
所運営ゲーム)などの啓  
発活動をする。

◆ 障害者のことを知らなく  
て、手を出し過ぎたり、  
敬遠したりして、配慮が  
適切にできていないので、  
お互いの歩み寄りが大切  
だ。

◆ 障害がある人もない人も  
老若男女が、かまえない  
で話し合えたらいい。  
などがありました。

◆ 研修会の中では、具体的  
な29年度の取り組みについ  
て決まらなかったため、事務  
局が持ち帰り、臨時常任委  
員会でさらに検討すること  
になりました。

**【具体的な取り組み】**

◆ みんなの研修会での会員  
の皆さんの意見をまとめ、  
事務局で具体的提案を考  
えて常任委員会に臨みま  
した。

- 1、障害者川柳を公募して  
優秀作品を掲載する啓  
発冊子やカルタを作る。
- 2、外出支援や障害児支援  
の新しいボランティアグル  
ープの立ち上げを支援す  
る。
- 3、視覚情報なしで観るミ  
ニ映画会などの体験講座  
を開く。

◆ この中で常任委員に特に  
反響が多かったのが、「障害

者あるある川柳」でした。

◆ 障害者に対する思い込みや  
偏見、よくある誤解などを  
解消できるような川柳を  
公募し、みんなで作って、カ  
ルタや冊子の形にすれば、そ  
の後の啓発活動に利用する  
ことができます。障害のあ  
る人もない人もみんな参加  
でき、その製作過程でも楽  
しく啓発や交流ができるの  
ではないかとの意見があり  
ました。

◆ また、ボランティアにとっ  
てハードルが高いと感じら  
れている車いす使用者の外  
出支援について、1人ではな  
く、合コンのように2対2  
などグループでの支援がで  
きれば手が上げやすくな  
るのではないかと意見があ  
りました。まずは、外出  
支援ボランティアの交流研  
修会を企画し、車いすの介  
助など技術的な問題を解  
消するとともに、困った時  
の対処法などをボランティ  
ア同士で話し合える場を

◆ 作ることにしました。交流  
のきっかけ作りをし、そこか  
ら外出支援ボランティアグ  
ループができれば、ボランテ  
ィアの育成につながるのでは  
ないでしょうか。



◆ 視覚による映像情報な  
しのミニ映画会については、  
その映画会によつて、視覚に  
障害のない自分が視覚に頼  
った生活をしていることの  
自覚になったり、見えなく  
ても意外と楽しめると思っ  
たり、自分は見えてよかつ  
たり、自分人事として考えた  
り、感じることは人それぞ  
れではないかとの意見があ  
りました。

◆ 視覚障害者や肢体不自  
由の方がパソコンやスマホが  
使えないだろうという思い  
込みの反面、実際にはパソコ  
ンやスマホなどのIT機器

◆ が、障害のある人の生活を  
便利にしています。市から  
の委託事業である障害者パ  
ソコンサポーター養成派遣  
事業では、視覚障害者のス  
マホやタブレット端末への支  
援のニーズが増えているた  
め、IT支援の拡大を検討  
する提案がありました。

◆ さらに今年度が当会の中  
長期計画の5年目である  
事から、これまでの活動を  
総括し、その実現のため、29  
年度の事業に加えて取り  
組む必要があります。中長  
期計画を見直し、より具体  
的な実現に向けて話し合  
うことになりました。

◆ 最後に事務局から、来年  
度はボランティア協会が設  
立35周年の節目となるた  
め、記念グッズを制作する  
提案があり、会員や新たに  
ボランティア活動を始める  
人に記念に配ることになり  
ました。

◆ 記念グッズが何かは、出  
来てからのお楽しみです。

ホテルのバリアフリー情報を  
障害福祉情報センターの  
ホームページで紹介します!

北九州市障害福祉情報センター事業の一環で、現在、北九州市内のホテルのバリアフリー情報を調査しています。

障害者差別解消法の施行から二年が過ぎ、ホテルや飲食店などの事業者も、バリアフリーへの対応が求められています。

また逆に、障害のある方に、どのホテルがその障害特性に対応した設備やサービスがあり、利用しやすいかの情報を提供できれば合理的配慮につながっていくと思えます。

調査は、市内のホテルにアンケートを送り、回答があったホテルに取材を申し込みました。そして車いす使用者のボラ協会員

とボランティアで、ホテルへバリアフリーの取材に行つてもりました。



情報誌「ひこうせん未来」でもそのホテル情報を記事にして掲載しています。取材した調査結果が少しずつまとまってきたので、その情報を近日中に障害福祉情報センターのホームページで紹介いたします。ホームページではホテルの設備について検索できるようになっています。皆さんの利用しやすいホームページを目指して、今後随時情報をアップしていく予定です。

やってみよう!  
外出支援ボランティア

平成28年度のボランティア協会の活動を振り返ると、障害のある方のボランティアに対するニーズが変わってきたような気がします。

特に相談紹介事業では、施設で暮らしている車いす使用者からの外出支援のボランティア依頼が少しずつ増えています。しかし外出支援に手を上げるボランティアの人数はあまり増えていません。

前回のでんしょ鳩に外出支援ボランティアについてのアンケートを同封しましたが、その回答もごく僅かでした。

ボランティアの皆さんにも様々な事情があると思います。手を上げる人が少ない理由を想像してみました。障害のある方の車いすの介助をしてケガをさせたらどうしよう、当事者の人と2人でどんな話をしたら

いいか分からない、そんな不安や心配といった障害者支援へのハードルの高さ。車いす使用者が自由にお出かけしたいという気持ちや、うまく伝えることができていない、また、ボランティア活動をしたいと思っている人に届いていないという広報や伝達の問題。

それらを改善するため、今年度のボランティア協会の重点事業として、車いす使用者の外出支援ボランティアチーム研修会を行います。まずは研修会で介助のしかたや困った時の対応策を学び、ボランティア同士の交流会で支援者の横のつながりを作りたいと思います。ぜひ皆さんも、研修会にご参加ください。

車いす使用者の外出支援ボランティア交流研修会

日時：4月22日(土) 10時~12時  
場所：東部障害者福祉会館 研修室6AB  
内容：アイスブレイク、車いすの介助法、困りごとQ&A、ボランティア交流会 など

広告



SKC 会計グループ  
税理士法人 SKC

税務代理業務 ・ 税務相談業務

グループ会社

〒806-0011 北九州市八幡西区紅梅二丁目9-16  
TEL. 093-645-0129 / FAX. 093-645-0070  
http://www.skc-tax.or.jp/

株式会社さかい経営センター 株式会社SKC計算センター  
一般社団法人 相続・贈与相談センター北九州  
(岩本英俊行政書士事務所)

宮崎浩さんは、当ボランティア協会の理事です。このコラムは、宮崎さんの体験を通した思いをつづったものです。

### ボランティア物語

-88-

#### 普通じゃない 宮崎 浩

宮崎家の夫婦の会話から

「ボランティアは、普通じゃない奴ばかりじゃないか」

「あなたが、普通じゃないよ。」

「俺が、一番、普通じゃ」

「みんなが一番、自分が普通と思つとうとよ」

「普通やない男の女房が、一番、普通やないんじゃない」と、これは言えなかった。

むきになって反論しても、大抵、僕のほうが負ける。

だつて、「普通じゃない」とは、「異常」ということ。前面で「普通じゃない」とか言われたら腹が立つ。

でも、こんな友人もいる。「世間の普通というところにだわつていては、俺は俺でなくなる」と。

そんな彼は、いつも赤・黄・青という派手な三原色の服を好んで着ている。

以前、葬式に参列した時

でも、赤いシャツの装いで現れて周囲を驚かせた。

だが、この赤いシャツは、故人からの贈り物で、あえて着て来たと聞いた。

いわば、この服装が、彼にとつての「普通」だった。

よくよく思えば「普通」なんて、時の権力者や大衆が定めた基準のない価値観。

だから、時代や場所が違えば、今この「普通」は「普通」でなくなる。

それでも、多数が「普通」とすれば、理不尽な慣習であつても、巷に浸透する。

対してボランティアは、少数派の側に立ち、時には、権力者とも抗つてきた。悪しき慣習に意を唱え社会を変えてきた。

だとすれば、ボランティアは、「普通じゃない」と言われてもあながち外れてはいないのかもしれない。

ゆえに「普通じゃない」とは、「特別」ということ。

そう思えば、女房とケンカすることもなさそうだ。

#### 北九州市福祉のまちづくりネットワーク

(リレーレポート③)

#### バリアフリー現地点検で感じたこと

北九州市建設局道路部道路計画課 調整第二係 若菜 邦彦

本市では、「北九州市福祉のまちづくりネットワーク」の方々と2ヶ月に1度の定例会や1年に3回程度行う現地点検を通じて、意見交換を行い、道路の整備に反映する取り組みを進めています。

本年度の現地点検は、戸畑区の浅生スポーツセンター周辺とJR小倉駅新幹線口から3月に完成したミクニワールドスタジアム北九州までのルートを行いました。

点検活動では、歩道の勾配がきつい箇所や歩道面とマンホールとの数センチの段差につまずくなどの道路に関することや、横断歩道を渡る秒数が短く渡り切れな

いこと、音響装置の音が小さく聞こえづらいなどの信号機に関する事など、さまざまな視点から多くの指摘を頂きました。

ご指摘を頂いた箇所については、関係機関と協議を重ね、出来る限り早く確実な改善が行えるように努めています。

一方で、まだまだ街なかには高齢者や障害のある方、子育て中の方などが、不便さや苦勞を感じる構造や状況があふれています。皆さんと一緒に歩いて点検することは、私達だけでは気付けなことを確認できる大切な時間であると考えています。

いつの日か現地点検後に「バリアフリーの配慮が行き届いていますね」と言ってもらえるように、これからも誰もが不安を感じることなく自由に出し活動できるように、バリアフリーのまちづくりに取り組んでまいります。

#### 広告

明るく・元気に・前向きに!困ったときはお互い様

#### 業務内容

資料の電子化・データ処理・ホームページ作成・アクセシビリティ検証・企画・デザイン・印刷各種・各種コピー・大型カラー出力・安全標識作成

障害者と共に生き活きと働ける職場づくりを実現するため、日々頑張っています!



三菱ケミカル株100%出資特例子会社  
**化成フロンティアサービス株式会社**  
 〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石1-1  
 TEL093-643-4390 FAX093-643-4393  
<http://kfs.mc.co.jp>



―身体障害者福祉協会に入職されたのは―

福祉系の大学を卒業し、平成十二年四月、介護保険がスタートした時に西部障害者福祉会館のデイサービスの職員

になり、平成二十六年に閉鎖されるまで続けました。その間、社会福祉士とケアマネジャー、介護福祉士の資格取得、結婚、三人の子どもの出産と変化の多い十四年間でした。

―今の担当は―

北九州市障害者社会参加推進センターを担当しています。昨年度もコミュニケーション支援セミナーを開催しました。オストメイトの「利用できない」との声で、介護職向けに認定看護師を講師にまねき、ストーマケアの方法などの講習会を開催しました。今年度は

視覚障害者や咽頭摘出者に関わる支援者を対象に講習会を企画します。また現在、障害福祉サービスを利用している人の中で65才からは介護保険サービスが優先されるので障害福祉サービスから介護保険へのスムーズな移行のための支援をしたいと思います。

―これからやりたいことは―

今の担当になったのが昨年の四月です。おもしろくやりがいのある部署なのでしばらくは今の仕事でがんばりたいです。

―福祉系の大学を選んだのは―

本当は経済や法律を学びたかったのですが、何か資格を持つていた方がいいとの親の意見もあり、福祉系大学に進みました。いい講師、最高の友人たちとの出会いがありました。学生生活を送りました。学生

時代から東部障害者福祉会館に出入りはしていましたが、その講師の紹介で身体障害者福祉協会に就職しました。

―ボランティア協会との関わりは―

昨年度から「ひこうせん未来」の編集委員になりました。障害者との関わりは母が特別支援学級の教師をしていました。また障害のあるお姉さんが隣に住んでいて、いつも一緒に遊んでもらっていました。特に障害という意識はなく身近な存在でした。学生の時は何も考えずにボランティア活動をしていました。わからないことがあると当事者に直接聞いていました。



櫻木 奈緒子さん

「ひこうせん未来」の編集委員

―仕事をしたがらの子育ては大変でしたね―

最初の子どもが一番大変でした。

聞き手 森山 幸恵

た。実家が遠く日常的な支援が受けられなかったのですが、またま近所に同じような境遇の保育園のママ友ができ、お互いに助け合って何とか乗り切っています。デイサービスの時は先輩の利用者の経験談を聞かせてもらい、同僚や上司の理解があつて助けてもらいました。

―ご家族は―

夫と子ども二人です。幸い夫は自宅から通勤できる職場です。

―趣味は―

小、中、高と、ソフトボールをしていました。その影響か子ども達もソフトボールチームに所属しています。体を動かすのが好きで、休みの時は子ども達の練習や試合に行き一緒に楽しんでいます。実家には年末年始しか帰省できないのですが、両親の方が二ヶ月に一度程度遊びにきてくれて一緒にソフトボールの応援を楽しんでいます。

聞き手 森山 幸恵

聞き手 森山 幸恵

聞き手 森山 幸恵

聞き手 森山 幸恵

広告

オフィス文化を創造する!!  
OA機器・オフィス用品の総合商社

**K&K 株式会社 加来文機**

代表取締役 加来典崇

〒805-0007 北九州市八幡東区白川町4番2号  
TEL: 093-661-0222 FAX: 093-671-3208



# あったらいいね! こんなトコ

ひびきの学研

都市の近くに今  
回紹介する「さん

ぞくや ひびきの  
店」があります。

広い駐車場から入  
口に入ると完全な

バリアフリーで、正  
面には鯛や鯔が

泳ぐ大きな生け  
簀があります。

このお店は、設計  
の段階から、車いす

の方が来店しやす  
いように考えられ

ており、通路は車い  
す同士でもすれ違える広さ

です。テーブル席の四隅は車い  
すで食事ができるように、い

す席になっており、一番奥の二角  
は車いす席が10席近く用意



できる造りで、デイサービスの

団体客も良く利用されると  
のことです。もちろんトイレ

も男性用・女性用・多目的ト  
イレとあり、多目的トイレは

車いすでも使いやすい広さに  
なっています。

店長の武藤一洋さんは、  
「近くの大型販売店にお買い

物のご家族やお勤めの方など  
もたくさん来店されますが、

車いすを含む  
団体でも、事

前にご連絡い  
ただければ、

席をご用意で  
きますので、

おいしい料理  
をぜひ食べに

来てくださ  
い」と言ってい

ました。

## さんぞくや ひびきの店

北九州市八幡西区本城学研台1-3-7  
電話 093-692-0775 営業時間 11:00~22:00  
URL <http://sanzokuya.com/>

## 平成29年度 第36回

# 定期総会のお知らせ

ボランティア協会の明日を決める大事な総会です。

正会員の方でなくても、ぜひご参加ください!

日にち 平成29年5月14日(日)

時間 14時00分~16時30分

- ・ 障害者への思い込み・偏見・無理解
- ・ 事業報告・決算、事業計画・予算

昨年好評  
だった寸劇を  
予定しています!

会場 ウェルとばた 12階 121・122会議室  
(戸畑区汐井町1-6)



広告

解体と土木工事の  
株式会社 大山組



〒802-0033 北九州市小倉北区富野台1-1  
TEL 093-551-5900 FAX 093-551-0867

《E-mail》  
ooyamagumi802551@train.ocn.ne.jp

ご協力・ご提供ありがとうございました。(敬称略)

○ご寄付(公益社団法人への寄付は、寄付控除の対象となります)

- 大木 克孝 尾形八重子 中原 祐子 松本 健司
- 長岡設備

○使用済み切手・テレカ・ハガキなど

- 牛島実基子 大道由梨恵 城井 朋子 公文真理亜
- 佐野 哉夫 下田 猛 西村 邦子 山下 光子
- 穴生保育所 生き方のデザイン研究所
- 興禅寺 永犬丸市民センター
- 北九州障害者福祉事業協会 八幡西区役所保護課
- 北九州若者サポートステーション

### 事務局からのお知らせ

#### ボランティア登録者の更新 新規登録者☆大募集☆

ボランティアの募集やイベントなどタイムリーな情報を不定期に発信しています。  
携帯電話かパソコンから、件名に「ボランティア登録希望」、本文にお名前と電話番号を入力し、下記アドレスまで送信してください。

MAIL:XLZ02133@nifty.ne.jp

#### ☆会員更新のお願い☆

新年度になりました。会員の更新の手続きをお願いします。

- ◆正会員・年会費  
個人／3,000円  
団体／4,000円
- ◆賛助会員・年会費(一口)  
個人／3,000円～  
団体／4,000円～

\*同時に、ボランティア協会と一緒に支えてくださる新規会員さんも大募集しています。



詳しくは事務局まで



#### ボランティア保険料が改定されました!

今年度から、ボランティア活動保険料が510円に改定されました。今年度も市からの助成が100円ありますので、保険料は410円になります。ボラ協で加入の代行をします。活動前にはご加入ください。

### 協会カレンダー

- 4月**
  - 6日(木) 西南女学院大学福祉学科向けオリエンテーション
  - 9日(日) 「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」贈呈式
  - 15日(土) 会報第210号発行
  - 19日(水) 北九州市障害者パソコンサポーター養成派遣事業運営委員会九州リハビリテーション大学校記念館開館記念式(岡田)
  - 22日(土) 車いす使用者の外出支援ボランティア交流研修会
- 5月**
  - 1日(月) 定例理事会
  - 8日(月) 北九州市人権施策審議会(古賀)
  - 10日(水) 常任委員会
  - 11日(木) 障害者の余暇支援者連絡会
  - 14日(日) 第36回定期総会
  - 17日(水) 福祉のまちづくりネットワーク定例会
  - 28日(日) 北九州市障害者スポーツ大会(後援事業)
- 6月**
  - 3日(土) 北九州市障害福祉団体連絡協議会 定期総会